

福祉のひろば

■2020年3月15日発行

■発行者

真野学区社会福祉協議会 広報部

撮影場所：昨年のふれあいこいのぼり祭り「真野」

ご挨拶

真野学区社会福祉協議会 会長 井上 俊生

■令和元年度の各事業も、多くの成果を収める事が出来ました。改めて、皆さまの格別のご支援とご協力に對しまして心から感謝を申し上げます。

■特に、高齢者の事業では、各地区で開催いただいた「ふれあいサロン」には、多くの方々に参加をいただき、地域でのふれあい交流を一層深めていただきました。

■また、学区社協が主催する「お元気サロン」や「高齢者友愛訪問活動」においても、高齢者を尊び、ご長寿を喜ぶ、地域づくりに貢献する事が出来たと確信しています。

■また、子育て支援では、「寺子屋プロジェクト事業」を実施し、長休み期間の学習を支援し、学習意欲の向上に努め、地域の子どもの健やかな成長を見守る事業としての目的を達成することができました。

■地区や学年を超えた子どもの交流は、掛け替えのない貴重な経験になったものと信じています。

■次年度もこうした事業を通して、地域福祉の充実のため、住民各位と力を合わせ取り組んで参ります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

お元気に長寿さん紹介

山形光三郎さん

大正14年7月9日生まれ（満94歳）
大津市真野一丁目在住



■生まれも育ちも葛川で、かつての冬は、毎年2メートルの雪が積もる豪雪地帯で、日々雪かきに難儀をされたようです。

■昭和20年4月に陸軍通信兵として入隊し、除隊後まもなく、葛川役場に奉職されました。昭和25年に結婚、一男二女に恵まれる。2回の市町村合併後も、継続して葛川支所に、そして支所長として、葛川の変遷を見守ってられました。その間に子どもの成長に伴い、真野中村に住居を構えられました。

■昭和60年に市役所を退職、そこに京都と若狹を結ぶ街道の改良工事が持ち上がりました。ところが現地と公図に違いがあることが判明し、その訂正作業を任されることになりました。

■約20年の歳月の末ようやく作業が完了し、いよいよ工事が始まり3箇所のトンネルが貫通、平成17年に念願の国道367号、鯖街道と呼ばれる千年の古道がみごとに生まれ変わりました。そのときの感激は忘れられない思い出のようです。

■子どもは独立し、夫婦二人の生活に入りました。真野学区では当時盛んであったゲートボールクラブに夫婦で入会し、大会に進んで参加する程夢中になり、多くのお仲間が出来て、有意義な日々であったことを、満面の笑みでお話し下さいました。現在は週3回のデイサービスを利用され、健康保持に努められておられています。

令和元年 秋のお元気サロン



■元号が令和となって最初のお元気サロンを、錦秋の11月13日、総勢150名の参加のもと開催しました。

■午前の部は、サロンのテーマソング「お元気さんの歌」の合唱で開演。始めに真野幼稚園児の元気一杯の歌や参加者との「じゃんけん」「あかんべー」などのお遊戯を楽しみました。園児との交流はいつもながら笑顔に つつまれました。続いて、堅田すこやか相談所による「栄養バランス生活！元気長生き講座」。よい食生活とは、主食（ご飯・パン・麺類など）、主菜（肉・魚・卵・納豆・豆腐など）、副菜（野菜・海藻類）をバランスよく食べること。牛乳や乳製品も食事にプラスして取る。食後のおやつにバナナ、ミカン、イチゴなどの果物も勧められました。元気に長生きするには、食事の大切さを痛感しました。



■午後の部は、広瀬邦彦さんによる「腹話術」で大いに笑わせていただきました。続いてメインイベントは、かつての歴代座員による「とんちんかん一座」の上演です。

■演目は、「まんだら池の栓」。原作・シナリオは、尾木八重子さん親子によるものです。登場人物の舞台衣装や小道具は一座発足以来携わっていただいています奥野久仁枝さんの手作りです。

■平穏な真野村にある「まんだら池」の大きな石の栓が、持ち去られることから話が始まります。

■中村の辻のお地藏さん、琵琶湖の弁天様やオオナマズ、雨乞いの佐川の龍神さんと、郷土色たっぷりの見せ場あり、とんちんかん一座名物の黄門様一行も登場するなど奇想天外な展開です。栓が無事に戻り、池が元の姿になった喜びと秋祭りの場面とが相まって、ラストシーンの江州音頭に乗って参加者やスタッフも踊りの輪に入り、満場の拍手をいただきました。

■リハーサルも何度も重ねましたが、セリフが覚えられず、小道具の杖や、はたまた衣装の間にカンニングペーパーをしのばせたり、シナリオにないアドリブの連続です。これがまた笑いを誘い、本当のトンチンカン劇場となりました。よくぞ辛抱してご覧くださいました。大爆笑、大喝采の渦に、参加者、出演者、スタッフも共に楽しませていただき、思い出に残るサロンとなりました。



親子でお菓子作り



■2月8日 レーク大津・堅田ふれあい調理室をお借りして、カップケーキ作りに挑戦しました。親子15組、総勢37名で調理室は満員。去年と同じく講師は上田美代子先生です。

■材料をチャック付きのビニール袋に入れて、調理スタート。器具を使うことなく、手を汚すことなく、材料をこねていくことができます。もちろんバナナも袋の中で見事つぶすことができま

した。最後は袋の端を切り、生地を絞り出してカップに入れてオープンへ。焼き上がったケーキにフルーツやホイップで飾りつけをして完成です。

■後はみんなで試食タイム。「イチゴのせすぎた！」「クリームもおいしい！」「わいわいと楽しい親子のふれあいタイムとなりました。（社協と公民館の共催）

真野っ子冬休み塾

■12月26日 冬休みの一日を利用し、子育て支援事業「真野っ子冬休み塾」を開催いたしました。

■真野学区在住の小学校3年生から6年生までの児童30名の参加をいただき、「書き初め」「茶道体験」を楽しく学び体験をしていただきました。

■茶道体験では、茶道クラブの会長さんに作法を指導いただき、初めての体験に、子供たちは神妙なおももちでした。



各地区のふれあいサロン

大野団地 ふれあいサロン

■大野団地では、参加される方の健康や凍つく路面での転倒による怪我などを防止するため寒季を除いて、自治会館においてお菓子をつまみ、お茶をすすりながら、健康な老後生活、NHKの朝ドラなどのよく見るテレビ番組、孫の成長などを話題に気軽に参加していただけるサロンを開催しています。令和元年はこいのぼりの色づけ、たこ焼きづくり、リースづくりをしています。11月24日には、15名の方に参加いただきタピオカ、紅茶、牛乳、はちみつによるタピオカミルクティーを作ってもらい、引き続き茶会を催したところ、おいしくできたと喜んでいただき大好評でした。

沢 ふれあいサロン

■今年度、最初のふれあいサロンを9月25日(水)に開催し、19名の方が参加されました。大津市社会福祉協議会から講師をお迎えして「終活」についてのお話を拝聴しました。エンディングノート「私の整理帳」の使い方を丁寧に教えて頂きながら、高齢期を楽しく安心して過ごすためには、何を準備すれば良いかなど色々と知ることができ、大変有意義な時間を過ごしました。



普門 ふれあいサロン

■12月12日(木) 普門自治会館で38名の参加者のもと、秋のふれあいサロンを開催しました。

■午前は、堅田すこやか相談所の保健師さんの「インフルエンザ」注意点と健康講座をしていただき、続いて日吉台民謡同好会の3人の皆さんによる民謡、三味線、尺八、銭太鼓、南京玉すだれで、楽しい時間でした。



午後は永遠の爆笑王やすし、きよしの漫才ビデオを観賞し大いに楽しみました。



中村が丘 ふれあい喫茶

■こちらでは、毎週土曜日の午前中に喫茶とお喋りを楽しみにして、毎回十数名の方々が好きな時間に集まります。好きな時間に退室、自由な中で皆さんの元気な顔を寄せ合いながら、テレビ番組の「チコちゃんに叱られる」であった身近な話題の意味や日常の様子とかで毎回話が盛り上がります。自分の思いや、感じた事など相手を思いやり、「わいわい」「がやがや」と普段の身近な世間話で楽しいひと時を過ごしています。



北村 ふれあいサロン

■北村は年2回、9月と12月にサロンを開催しました。毎回10名前後の方が参加されます。1回目は敬老会の食事のあと、簡単な体操と脳トレゲームを行いました。ことわざや四字熟語の問題や改元に因んだ平成、昭和の思い出クイズなどワイワイと話が弾み、楽しいひと時でした。2回目は和紙ちぎり絵キットを使い、来年の干支ねずみの壁飾りを作成しました。細かい作業で大変そうでしたが、素敵な作品ができました。



レークパレス ふれあいサロン

■1月12日レークパレス自治会恒例の新春ふれあい餅つき会を実施しました。今年のふれあいサロンの日は、ちょっと天気が悪かったのですが、悪天候を吹き飛ばすかのような参加の皆さんの元気ぶり!! たっぴりと餅つきを楽しんだサロンでした。

■当日は老若男女が延べ50人ほど集まりました。地元でとれたもち米でついたお餅は格別!と今年も大好評でした。また、夕刻より、これまた恒例の新年会を実施。レークパレス名物の山菜おこわを食し、みんなで乾杯! 朝から晩まで楽しい時を過ごしました。



谷口 ふれあいサロン

■晴天に恵まれた10月31日、第2回谷口ふれあいサロンを26名の方々にご参加いただき開催しました。

■最初に、経験者の有志の方による「南京玉すだれ」をご披露いただきました。久しぶりの実演というのに、見事な技に拍手喝采でした。参加者も「玉すだれ」に挑戦してみましたが、「うまくいかん」「むずかしい」と言いながら楽しんでいただきました。

■次は、キーボードの伴奏に合わせて歌を歌いました。懐かしい曲を歌いながら思い出がよみがえります。みんなで大きな声を出し、楽しい時間となりました。最後は茶話会でゆっくりほっこりしていただきました。



佐川 ふれあいサロン

■さわやかな秋晴れの10月30日、自治会館に34人の参加のもと、ふれあいサロンを開催しました。講師の軽妙な語りとキーボードの演奏に合わせて次々と出てくる懐かしい思い出の曲を存分に歌いました。昼食をはさみ、健康、年金、朝ドラなどの話題に話がはずみ、大変楽しいサロンになりました。

■12月22日、真野パイオニアサークル(MPC)のご支援を得て、そば打ち教室、焼き芋のほか、餅つきを実施しました。餅つきは初めてのことでしたが、小学生の参加など大賑わいでした。生姜餅、きなこ餅、新そば、焼き芋など食のサロンは大好評でした。

■年が明けた1月29日、21人参加のもとサロンを開催しました。ローズタウン在住の山本和男さんのマジックショーで、見事なマジックを披露していただきました。山本さんは80歳を超えられています、見事な手さばきに参加者全員が口を開けて、ただただその妙技に見とれていました。



東浦 うぐいす会

■平成11年から始まった「何でも歌おう会」。毎月第一水曜日に開催し、「うぐいす会」と名前をつけて、21年目を継続中です。各自100円の参加費(お菓子代)だけの資金運営なので、社協からいただく補助金は大変重宝しています。そのおかげで年に2回はお弁当つきのちょっぴり豪華なサロンが開催できています。

■1月は、生協さんの「ぱくぱくキッチン」に来ていただきました。地域での健康づくりの推進のために、コープしがが出勤キッチンを提供してくださっています。簡単に出来る二品を試食させていただきながら、健康づくりのお話を聞きました。その後は、サロン参加者有志の手作りのぜんざいで乾杯し、美味しくいただきながら、今年も元気で頑張っていこうと気持ちを新たに誓いました。



中村 第36回三世代ふれあいいきいきサロン

■11月23日秋晴れの下、中村会館にて、約120名を超える参加者を得て盛大に開催しました。午前10時から威勢のよい掛け声で餅つき、フランクフルト、綿菓子、ポップコーン、さつま芋煮など子供会や老人クラブによる模擬店がスタート、会館内ではミニ文化祭、昼食は、毎年好評のおにぎりちゃんこ汁、午後の部は、三世代が楽しめる手品師、山本和男さんによるマジックショーやビンゴゲームで全員大喜びでした。引き続き大人タイムへ移行、キーボードと津軽三味線のコラボで、テーマは「忘年会」お座敷小唄に始まり、二人でお酒をなど全23曲を大合唱、晩秋の一日を楽しんでいただきました。



活動の 一コマ

真野地区民生委員児童委員協議会から

●真野幼稚園に招かれて

10月23日さわやかな秋の日、民生委員や老人クラブの有志が「昔あそび」のボランティアに寄せてもらいました。

おもちゃ作り、ままごと、コマ回し、綾取りなど、園児とともにそれぞれ得意の班へ合流、男の子も女の子も、大工道具をうまく使って文化祭の作品作り。指を詰めないかヒヤヒヤのいい、ばあばが見守る中、アイデア一杯の作品が形になってくると、誇らしげに何を作っているのか一生懸命説明してくれました。綾取りでは、一本の糸で変幻自在、色んな形ができることに興味津々、技に真剣な眼差し。ままごとでは、ばあばのお客さんにご馳走作り、腕を振るう姿、スタッフもすっかり園児の仲間入り、元気をいただきました。もう一つ嬉しかったことは、園児との合い言葉、じい先生、ばあば先生と呼んでくれる園児の笑顔は、最高の贈り物でした。



心配ごと、悩みごとを
ひとりで抱えていませんか?

民生委員児童委員は

●住民の立場に立って、まちの福祉を担うボランティアです。

●さまざまな相談に応じます。

その課題が解決できるよう、行政機関をはじめ必要な支援の「つなぎ役」になります。

●安心してご相談ください。

民生委員児童委員には民生委員法に定められた守秘義務があり、相談内容が他の人に伝わることはありません。

どうぞお気軽に、ご相談下さい。

●令和元年12月1日付けで、民生委員児童委員の改選が全国一斉に実施されました。各地域の皆さんの推薦をいただき、厚生労働大臣から委嘱を受けました真野地区の委員は、次のとおりです。地域や福祉に携わる多くの方々との協力しあいながら、安心して暮らすことが出来るまちづくりに努めたいと思っています。

●3年間よろしくお願いいたします。

担当地区	委員名	電 話
中村(北側)、レークパレス	川端 一平	572-1878
大野、佐川	小林登久子	573-9131
東浦、浜(東、北側)、ルモン	島 将二	090-1138-9363
駅西口、グローバル	清水 豊	080-3842-3084
中村(南側)	瀬津 久雄	572-1037
大野団地	中村 正夫	573-5892
谷口、中村が丘	野田 真肖	573-0912
沢、北村、サカエ、アトレ	濱本 久夫	572-2723
普門、家田	山本 實	573-4222
浜(西、南側)	和田 均	572-0857
真野地区全域(主任児童委員)	杉本加津美	572-2098